



シンポジウム

# 統合生物学

## 生物をまとめて調べると 見えてくる世界

現代生物学全体を統合してゆくことを最終目的とする統合生物学の姿を紹介する。

統合生物学によって、ヒトと生物の未来を見据えることができる。

11月2日 (月)

13:30~16:30

国際研究交流大学村メディアホール  
(東京国際交流館)

司会 鷲谷いづみ (東京大学)

演題

- |  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 化石と統合生物学                              | 西田治文 (中央大学)     |
| 2. 太陽を食べる生物と地球を食べる生物<br>深海生物の不思議に迫る      | 北里 洋 (海洋研究開発機構) |
| 3. 生物社会の理解にむけて<br>-生物集団の自己組織化を解明する統合生物学- | 松本忠夫 (放送大学)     |
| 4. 遺伝子の側面から生物の世界全体を見る                    | 美宅成樹 (名古屋大学)    |
| 5. 生物学の十字路口としての行動生物学                     | 長谷川寿一 (東京大学)    |
| 6. 人類の視点から生物をながめる                        | 斎藤成也 (国立遺伝学研究所) |

総合討論 (パネル討論)

お問い合わせ

斎藤成也 (saitounr@lab.nig.ac.jp)

国立遺伝学研究所 集団遺伝学部門

TEL/FAX 055-981-6790/6789

主 催：日本学術会議 (統合生物学委員会)

